

関節リウマチ患者さん用

ジセレカ®錠を服用される方とそのご家族へ

# ジセレカ®錠 服用ガイドブック



ジセレカ®錠  
filgotinib

# はじめに

## ジセレカ®錠を適切に服用していただくために

ジセレカ®錠は、成人の関節リウマチに対して使用されるお薬です。適切に治療を行うために、このお薬の服用を開始する前、または服用中に、いくつか気を付けていただきたいことがあります。

この冊子では、これからジセレカ®錠の服用を始める関節リウマチの方に、お薬のはたらきや服用方法、気をつけたいこと、副作用が起こった場合どうすればよいかなど、ジセレカ®錠による治療を続けていくうえで重要なポイントについて解説しています。

服用中に、疑問に思う点や、不安に思う点がありましたら、この冊子を確認したり、主治医や薬剤師に相談し、治療を続けてゆきましょう。



# 目次

関節リウマチの発症のしくみは？ ..... 4

関節リウマチの主な症状 ..... 5

関節リウマチと生活習慣 ..... 5

ジセレカ®錠のはたらき ..... 6

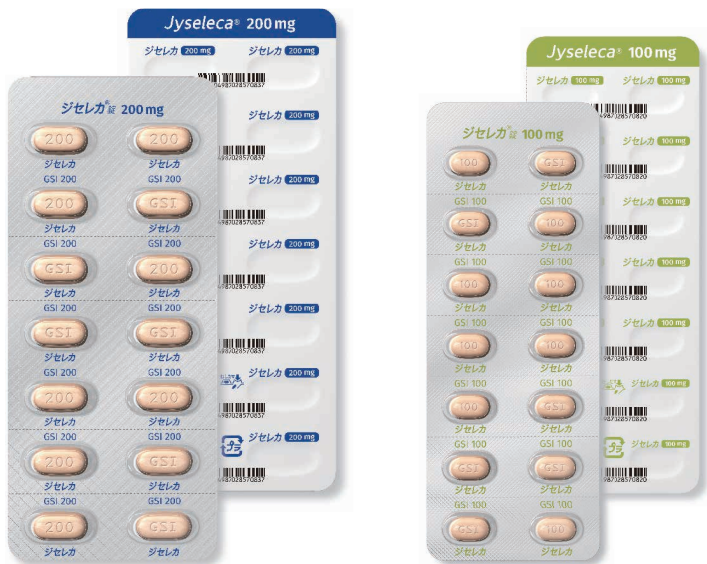
ジセレカ®錠の服用方法 ..... 8

ジセレカ®錠服用にあたって医師が確認すること ..... 10

ジセレカ®錠服用中に注意すべき症状 ..... 12

Q&A ..... 16

各種連絡先 ..... 18



# 関節リウマチの発症のしくみは？<sup>1)</sup>

関節リウマチについて、病気が発症するしくみや、病気が及ぼす影響についてまとめました。

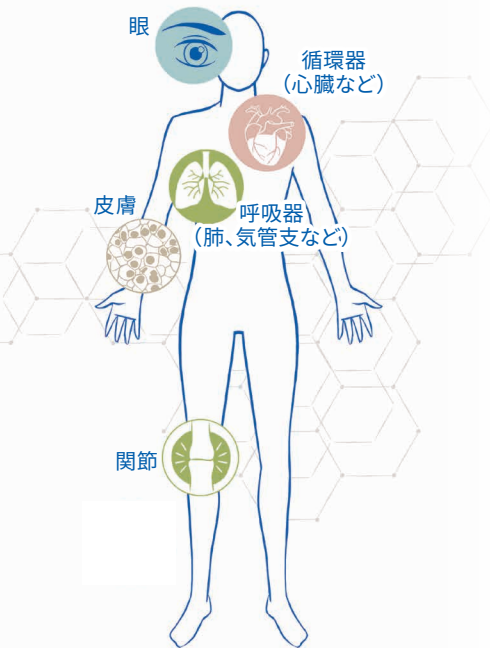
## 関節リウマチは「自己免疫疾患」

- 関節リウマチは、「自己免疫疾患」の一種です。
- 自己免疫疾患とは、自分の免疫システムが自分の細胞を「有害な敵」と勘違いし、攻撃することで起こる病気の総称です。
- 関節リウマチの場合は、免疫システムが主に関節を攻撃します。

関節リウマチの症状が  
あらわれやすい部位  
(イメージ図)

## 関節リウマチは「全身性疾患」

- 関節リウマチは関節だけでなく、全身に症状があらわれることがあります。
- 関節リウマチを引き起こす炎症性の物質が、関節の他に眼、循環器、呼吸器、皮膚などにも影響を及ぼすことがあるためです。



## 早くから治療を始めることが大切

- 関節に起こった炎症が長期間続くと、関節内の軟骨組織や骨がダメージを受け、関節が破壊されます。
- 関節の破壊が進行すると元に戻ることが難しいので、進行させないためには、早くから治療を始めることが大切です。

1) The National Rheumatoid Arthritis Society. What is RA?  
<https://www.nras.org.uk/what-is-ra-article> より作成 (2020年7月閲覧)

# 関節リウマチの主な症状<sup>1)</sup>

## ・関節の痛みや腫れ

関節が痛んだり腫れてきたりします。ときには関節周辺の赤みを伴うことがあります。手関節や足関節が最初に影響を受けることが多いですが、どの関節にも起こる可能性があります。

## ・こわばり

朝起きた時やしばらく座っていた後、関節のこわばりがしばらく（多くは 30 分以上）続きます。

## ・疲労感

通常の疲労感以上に疲れを感じる場合があります。

# 関節リウマチと生活習慣<sup>2)</sup>

生活習慣が関節リウマチに影響を及ぼすことがあります。

## 運動は症状の改善に役立ちます。

運動することで痛みが軽くなったり、身体機能が改善することがあります。できるだけ体を動かすことを心がけましょう。  
※運動を始める前には必ず主治医にご相談ください。



## 生活習慣が関節リウマチに影響を及ぼすことがあります。

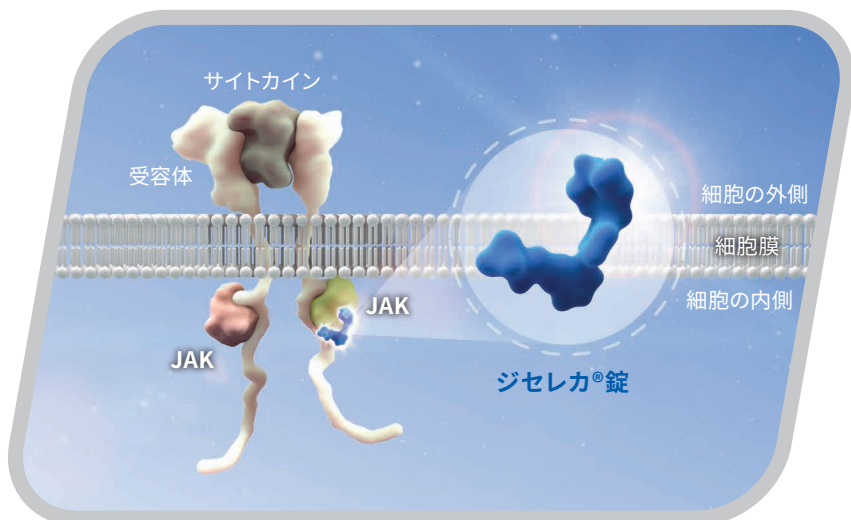
食事や睡眠をはじめさまざまな生活習慣が、関節の状態により影響と悪い影響を与える可能性があります。食事や睡眠にも気を付けましょう。



2) The National Rheumatoid Arthritis Society. Lifestyle  
<https://www.nras.org.uk/lifestyle> より作成 (2020 年 7 月閲覧)

# ジセレカ<sup>®</sup>錠のはたらき

ジセレカ<sup>®</sup>錠は、関節リウマチの炎症に関わる <sup>ジャック</sup>JAK と呼ばれるタンパク質にはたらき、炎症を抑える役割を果たすと考えられているお薬です。



(イメージ図)



関節リウマチ患者さんでは、免疫系が自分の細胞を攻撃することで、炎症が起こり、関節の破壊や痛みが引き起こされます。<sup>1)</sup>



JAK は、サイトカインが出す炎症を誘発する信号を細胞内に伝え、炎症を引き起こします。



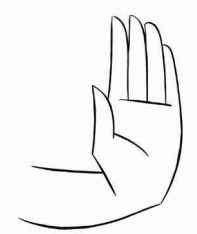
ジセレカ<sup>®</sup>錠はこの JAK に結合することで、細胞内への信号の伝達をブロックし、炎症を抑えます。その結果、関節リウマチの症状を軽減し、関節破壊の進行を抑えることが期待されます。

1) The National Rheumatoid Arthritis Society. What is RA?  
<https://www.nras.org.uk/what-is-ra-article> より作成 (2020 年 7 月閲覧)

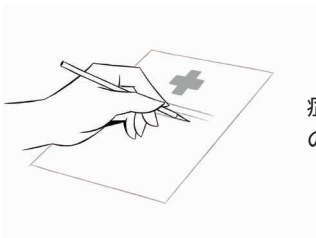
## 治療を続けていくと、次のような作用が期待できます



痛み、こわばり、腫れ、炎症など関節リウマチの症状の軽減が期待できます。



関節の骨や軟骨の破壊の進行を遅らせることが期待できます。



症状の軽減や関節破壊の進行が遅れるので、生活の質への影響が期待できます。

# ジセレカ<sup>®</sup>錠の服用方法

成人の場合、通常、200mg 錠 1 錠を 1 日 1 回服用します。

\* 100mg 錠を 1 日 1 回服用の場合もあります。医師の指示通りに服用してください。

食事のタイミングに関係なく服用できますが、毎日同じ時間に服用するようにしましょう。



1 日  
1 回  
1 錠

## 保管上の注意



お子さんの手の届かないところに保管してください。



室温で保管してください（冷蔵・冷凍しないでください）。



## ジセレカ®錠の服用を毎日の生活に組み込みましょう

治療の効果を十分に得るためには、お薬は医師の指示通り毎日服用することが大切です。

お薬の飲み忘れを防ぐために、ご自分の生活スタイルに合わせて服用する時間を決め、毎日の生活に組み込んでみてはいかがでしょうか。



## 飲み忘れを防ぐためのヒント



ジセレカ®錠の服用時間を、歯磨き、朝食、毎日の散歩などの毎日の生活習慣の前後に組み合わせてはいかがでしょうか。



スマートフォンや目覚まし時計のタイマーをセットして、服薬時間にアラームが鳴るようにしてはいかがでしょうか。



「ジセレカ®錠ダイアリー」を活用し、服用日時を記録しましょう。

# ジセレカ<sup>®</sup>錠服用にあたって医師が確認すること

主治医はジセレカ<sup>®</sup>錠の服用を開始するにあたって、以下の点を確認します。

## 服用前の診察・検査

問診や血液検査で、ジセレカ<sup>®</sup>錠服用が可能かどうかチェックします。

### ジセレカ<sup>®</sup>錠が服用できるかどうかをチェックするための主な検査項目

項目	診察・検査方法
・この薬の成分に対する過敏症にかかったことがあるかどうか	問診
・妊娠しているかどうか（女性）	問診
・子どもの受胎を希望するかどうか（男性・女性）	問診
・授乳しているかどうか（女性）	問診
・年齢	問診
・重篤な感染症の既往歴又は危険因子があるかどうか	問診
・肝臓の機能	血液検査
・腎臓の機能	血液検査
・結核にかかっているか、又は既往歴があるかどうか	血液検査、画像検査等
・B型肝炎、C型肝炎があるかどうか	血液検査
・リンパ球、好中球の状態	血液検査
・ヘモグロビン値	血液検査

## ワクチン接種について

ジセレカ®錠の服用前、または服用中には生ワクチンを接種できません。ワクチンを接種する場合は主治医に相談してください。

## 妊娠について

ジセレカ®錠服用中は、妊娠を避けるために適切な避妊を行ってください。  
ジセレカ®錠の服用終了後も、少なくとも1月経期間中は適切な避妊を行ってください。  
妊娠の可能性のある場合は主治医に相談してください。

## 男性の生殖能について

男性では、生殖機能が低下するおそれがありますので、主治医に相談してください。

## 授乳について

ジセレカ®錠服用中は、授乳は中止してください。



# ジセレカ®錠服用中に注意すべき 症状

ジセレカ®錠の服用中は継続的な体調のチェックが必要となります。副作用または体調の変化を感じた場合は、主治医に報告してください。

- ① じゅうとく重篤な感染症、ひよりみ日和見感染
- ② たいじょうほうしん帯状疱疹
- ③ じょうみやくけっせんそくせんしやう静脈血栓塞栓症
- ④ しやうかかんせんこう消化管穿孔
- ⑤ 間質性肺炎
- ⑥ 肝機能障害
- ⑦ 好中球数減少、リンパ球数減少、ヘモグロビン値減少
- ⑧ B型肝炎ウイルスキャリア
- ⑨ おうちもんきんゆうかいしやう横紋筋融解症、ミオパチー
- ⑩ 悪性腫瘍
- ⑪ しんけつかんけいじしやう心血管系事象
- ⑫ 低リン血症

じゅうとく ひよりみ  
① **重篤な感染症、日和見感染**

発熱、咳、痰、全身倦怠感など、風邪のような症状が続く  
免疫の働きが低下し、感染症にかかりやすくなったり、体内に潜んでいた感染症が悪化する可能性があります。  
上のような症状がみられたら、すみやかに主治医に報告してください。

たいじょうほうしん  
② **帯状疱疹**

皮疹、痛み、しびれ、かゆみ  
免疫の働きが低下し、帯状疱疹になりやすくなる可能性があります。  
上のような症状がみられたら、すみやかに主治医に報告してください。

じょうみやくけっせんそくせんしやう  
③ **静脈血栓塞栓症**

突然の呼吸困難、胸の痛み／下肢のはれ、痛み、色の变化  
静脈に血栓ができて、静脈が詰まったり血液が流れにくくなる静脈血栓塞栓症が起こる可能性があります。  
上のような症状がみられたら、すみやかに主治医に報告してください。

しょうかかんせんこう  
④ **消化管穿孔**

急な持続する腹痛、激しい腹痛、下血など  
胃や腸に穴があく消化管穿孔が起こる可能性があります。  
上のような症状がみられたら、すみやかに主治医に報告してください。

⑤ **間質性肺炎**

痰の出ない咳、息切れ  
肺の末端にある肺胞の壁（間質）に炎症が起きる間質性肺炎が起こる可能性があります。  
上のような症状がみられたら、すみやかに主治医に報告してください。

## ジセレカ®錠服用中に注意すべき症状

### ⑥ 肝機能障害

**黄疸、食欲不振、発疹など**

肝臓の機能が低下する可能性があります。

上のような症状がみられたら、すみやかに主治医に報告してください。

### ⑦ 好中球数減少、リンパ球数減少

**発熱、寒気、のどの痛みなど感染を疑う症状**

血液中の白血球の一種である好中球やリンパ球が減少する可能性があります。

上のような症状がみられたら、すみやかに主治医に報告してください。

### ヘモグロビン値減少

**顔色が悪い、疲れやすい、だるい、頭が重い、易疲労感、倦怠感、頭重感、動悸、息切れなど貧血を疑う症状**

血液中の赤血球に含まれるヘモグロビン値が減少する可能性があります。

上のような症状がみられたら、すみやかに主治医に報告してください。

### ⑧ B型肝炎ウイルスの再活性化

**倦怠感、発熱、食欲不振、悪心・嘔吐、発疹、黄疸等の症状が急にあらわれたり、続いたりする**

免疫の働きが低下するため、体内に潜んでいたB型肝炎ウイルスが再活性化する可能性があります。

上のような症状がみられたら、すみやかに主治医に報告してください。

### ⑨ おうもんきんゆうかいしょう横紋筋融解症、ミオパチー

**手足や全身の筋肉痛、しびれ、尿の色が赤褐色になる**

筋肉の構成要素の一種であるクレアチンホスホキナーゼ (CPK) が筋肉から血液に流れ込む可能性があるため、横紋筋融解症やミオパチーになりやすくなる可能性があります。

上のような症状がみられたら、すみやかに主治医に報告してください。

## ⑩悪性腫瘍

本剤との関連性は明らかではありませんが、悪性腫瘍の発現が報告されています。

## ⑪心血管系事象

しんけつかんけいじしょう

血液検査で、総コレステロール上昇、LDL コレステロール上昇、HDL コレステロール低下、トリグリセリド上昇などの脂質検査値異常がわかる可能性があります。脂質検査値異常は、虚血性心疾患（心筋梗塞や狭心症）を引き起こす原因のひとつとなります。

## ⑫低リン血症

血液検査で、血液中のリン濃度が低値になる低リン血症がわかる可能性があります。

ここに記載した以外の症状でも、体調の変化を感じた際には主治医に報告してください。



## Q&A

### Q ジセレカ®錠をのみ忘れてたらどうすればよいでしょうか？

**A** 服用を忘れたときは、気づいたらすぐに服用してください。1日服用を忘れた場合は、服用しなかった分を飛ばして、次の日に1回分だけ服用します。のみ忘れても2回分を1度にまとめて服用しないでください。

### Q 間違った量を服用してしまったらどうすればよいでしょうか？

**A** 指示された量以上に服用した場合は、医師または薬剤師に報告してください。副作用があらわれる可能性があります。

### Q 副作用があらわれた場合はどうすればよいでしょうか？

**A** 11～15ページに、注意事項と副作用について解説しています。その項目をご参照の上、副作用ではないかと思われた場合、すみやかに主治医に報告してください。  
また、ほかの症状でも、体に変調を感じたら、主治医に報告してください。

### Q ジセレカ®錠服用中には、どのような検査を受けますか？

**A** 定期的に、結核を含む感染症の有無、B型肝炎感染の有無、肝機能、腎機能、血液中のコレステロール、リンパ球、好中球の値などについて調べます。



**Q** 関節リウマチ以外で治療を受ける場合は  
どうすればよいでしょうか？

**A** 必ず、医師または薬剤師にジセレカ®錠を服用していることを伝えてください。  
薬によっては、ジセレカ®錠の作用に影響を及ぼすものがあります。また、  
ジセレカ®錠が他の薬剤に影響を及ぼす場合があります。







## ジセレカ®錠服用患者さん向けサイトと動画のご案内

ジセレカ®錠を適正にご使用いただくため、  
ジセレカ®錠を服用される方とご家族が、  
ジセレカ®錠の情報をご覧いただけるサイト及び動画です。

### サイト

URL <https://www.jyseleca-pt.jp/ra/index.html>



### 動画

URL <https://jyseleca-pt.jp/movies/starterkit.mp4>



## ギリアド・サイエンシズ株式会社

お問い合わせ：

**メディカルサポートセンター**

フリーダイヤル：**0120-506-295**

9:00-17:30（土日祝日及び会社休日を除く）

## エーザイ株式会社

お問い合わせ：hhcホットライン

患者様用：0120-151-454

ダイヤル  
医療関係者用：0120-419-497

ダイヤル  
フリーダイヤル(通話無料)

【平日9時～18時(土日・祝日9時～17時)】